

# ことばだけで“蝶結び”をどう伝えるか：動作の言語表現の性差

仁平 義明

(東北大学文学研究科)

Key words: 動作, 言語表現, 認知的自由度 (cognitive degrees of freedom)

## 問題

J.S.Bruner (1966) は、言語化が難しい動作的表象の代表的例として「結び」(knots)をあげている。本研究では、人は、どのようにして“蝶結び”(bowknot)という動作的表象を言語的表象に、苦労しながら変換するのか、とくに性差について分析した。

## 方法

281人の1年次男女大学生に、“蝶結び”の仕方を言葉だけで、それを知らない他者に伝えるつもりで文章で記述することを求めた。

## 結果および考察

学生が記述した言語表現は、量の点では、有意な性差はなかった(漢字仮名混じり字数, 男性平均157.4字, 女性平均166.2字)。記述を整理してみると、蝶結びのステップは18の下位ステップに細分化された。表現には、複数のステップを一つにまとめた表現も含まれていた。じっさいに説明に用いられた平均ステップ数は、やや女性の方が男性より多かった(男性学生平均8.4ステップ, SD3.4; 女性学生平均9.1ステップ, SD3.7)。

しかし、表現の性差は、言語記述の質的な側面に最も明瞭にあらわれた。女性と男性の典型的な記述例は次のようなものである。

### 例1) 女性による蝶結びの記述例 <自己身体参照傾向>

①1本のひもを持ち、**右手と左手**にそれぞれはしをもつ。②**右手と左手**のひもを**中心**で交差させ、**左手を手前**にする。③そのまま**左手**をひもの**上**とおり、**外側**にもっていき、次に**外側**から**内側(手前)**へ輪の中を通り両手でそれぞれはしを引っ張る。④だんごむすびでできた結び目のすぐ**右側**にてきとうな輪をつくり、ひもの先端は輪のはじめと一緒にきっちりもっておく。45度くらい**左側**の方向に輪を傾ける。⑤④のまま次に**左手**を使って結び目の**左側**のひもをもち④でつくった輪の**手前から輪の上**とおり外側へ持っていく。そしてそのまま少し**左手**を**下**にもっていき、その状態で**右手**を輪からはなし、そのところと、さっき**左手側の上**とおっていったそのすぐ輪の**手前**にできた小さな空間に**右手**を**手前**から入れ、**左手**のとこまでいき、**左手**から今**左手**が持っていたひもをうけとり、**親指**と**人差し指**でひもをもち、いまきた道をもどる。(後略)

### 例2) 男性による蝶結びの記述例 <対象化・抽象化傾向>

①ひもの**両端**を持ちます。②ひもを**クロス**させて**円**をつくります。③**円**をつくったらひもの**片方**の端を**円**の中に入れま

す。④ひもの**クロスした部分**より一方を4cmくらい**折り返し**戻ってきたものを、**クロス部分**でもう一度折り返します。⑤おりかえして、**二重になった部分**にもう一方のひもで**おび**をつくりまわします。⑤**おび**の中の、**クロス部**を**折り返し部**の間に、おびの余りを**中間部分**をもって引っ張り出します(このとき**おび部分の先端**、すべてを引っ張り出さないように注意します)。(後略)

女性は、自分の身体に関連づけて動作を記述する傾向<左右(右手、左手、右側)・上下(上から、下へ)・手前向こう(手前に、向こう側へ)・手指名(親指、人差し指)の4要素を記述に含める傾向>が男性より強かった。それらの4つの要素を記述に含めた対象者の割合は、4要素とも、女性の割合が男性よりも有意に高かった(図1)。それに対して男性は、必ずしも自己の身体系を参照しない対象化、抽象化による記述をする傾向(クロス、二重になった部分、中間部、折り返し部分など)があった。

この性差は、女性の方が、結び動作の各ステップの開始を決定するときの認知的負荷(「認知的自由度; cognitive degrees of freedom」)を男性よりも少なくするような記述方法をとる傾向を反映していると考えられた。

\*本研究は、文科省科学研究費補助金による「ことばで説明しにくいものの説明:運動の言語的説明に関する研究」(萌芽研究平成18年度~20年度:仁平義明)の一部である。

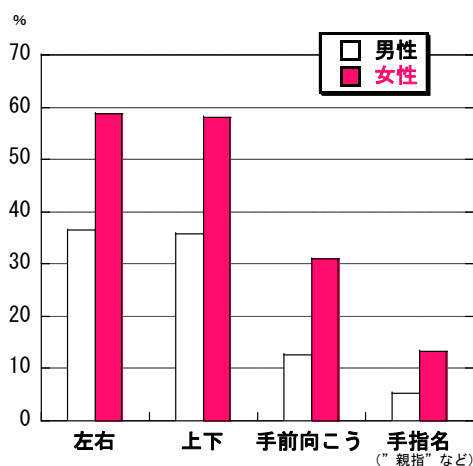


図1 自己の身体参照表現を説明に含めた者の割合(%)

女性は、自分の身体を基準にする説明の仕方をする中で、動作の各ステップ開始決定に必要な認知的負荷(認知的自由度; cognitive degrees of freedom)を、より少なくするような記述をする傾向がある。